

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年5月30日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。
隣人を自分のように愛しなさい。」 マルコによる福音書 12章30・31節

11、うれしいあさよ（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ローマの信徒への手紙6章1～11節

では、どういうことになるのか。恵みが増すようにと、罪の中にとどまるべきだろうか。決してそうではない。罪に対して死んだわたしたちが、どうして、なおも罪の中に生きることができるでしょう。それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその死にあずかるために洗礼を受けたことを。わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。わたしたちの古い自分がキリストと共に十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼされ、もはや罪の奴隷にならないためであると知っています。死んだ者は、罪から解放されています。わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることに成ると信じます。そして、死者の中から復活させられたキリストはもはや死ぬことがない、と知っています。死は、もはやキリストを支配しません。キリストが死なれたのは、ただ一度罪に対して死なれたのであり、生きておられるのは、神に対して生きておられるのです。このように、あなたがたも自分は罪に対して死んでいるが、キリスト・イエスに結ばれて、神に対して生きているのだと考えなさい。

おはなし 「神さまに対して 生きるってどんなこと？」 若月道子先生

わたしたちは、次週から十戒を学ぶこととなります。学んでいく前に大人の朝の礼拝で、熊田牧師が十戒を唱える前にいう言葉があります。「わたしは あなたの神 主であって あなたを エジプトの地 奴隷の家から 導き出したものである」です。

わたしたちは、イエス様を信じない前は、罪の奴隷のような存在でした。罪の奴隷とは、罪を犯すことに慣れきっていて、その罪を犯すことが悪いことだとも思わない状態です。

そして、神さまの支配のもとに入る方が、大変だ、だから、罪の支配にいる方が楽だと思っているのです。しかし、聖霊が働くと、その誤解がとけて、神さまの支配は、愛に満ちていることに気が付かされます。世の中のどんな力も、神さまの愛からわたしたちを引き離すことはできません。選ばれた民は、

生きるにも死ぬにも永遠に、この愛の支配のもとに生きることで、慰めを与えられるのです。

わたしたちが神さまの子どもとして、二度と神さまから離れないように、御言葉に背を向けて歩まないように、神さまに喜ばれる人になって欲しいというのが、神さまのお考えです。

神さまは、わたしたちが道はずれなうように十戒をくださいました。この地上で、天国への道からはずれなうように十戒を唱えながら歩みましょう。

それが、神さまに対して生きる道なのです。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

66、神の国とその義 (こどもさんびかをお用ください)